



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日
上場取引所 東

上場会社名 三共興株式会社

コード番号 8018

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川崎賢祥

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 長澤和之

(役職名) 執行役員

(氏名) 下川浩一

(TEL) (06) 6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	21,153	△2.2	1,972	22.8	2,410	18.5	1,694	7.0
29年3月期第3四半期	21,620	△13.6	1,606	△23.2	2,033	△18.4	1,583	△4.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,379百万円(21.9%) 29年3月期第3四半期 3,594百万円(144.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	37.43	—
29年3月期第3四半期	34.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	57,018	39,304	68.3
29年3月期	52,723	35,607	66.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 38,943百万円 29年3月期 35,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	15.00	15.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△3.3	1,300	△32.4	1,600	△35.4	1,100	△40.1	24.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期3Q	60,000,000株	29年3月期	60,000,000株
30年3月期3Q	14,737,398株	29年3月期	14,737,396株
30年3月期3Q	45,262,603株	29年3月期3Q	45,262,604株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)におけるわが国経済は、個人消費や雇用情勢の改善傾向は見られるものの本格的な回復とまでは言えず、加えて近隣アジアの不安定な政治情勢も背景にあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、秋口からの天候には恵まれたものの、消費者の購買動向の多様化や低価格志向により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは売上を追わず利益重視に徹し、従来から進めております事業の構造改革を図るなかで経費に徹底したメスを入れるなど、利益の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比2.2%減の21,153百万円、営業利益は前年同期比22.8%増の1,972百万円、経常利益は前年同期比18.5%増の2,410百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比7.0%増の1,694百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

ファッションブランド商品の販売におきましては、国内市場で消費低迷が長引くなか減収とはなりましたが、経費削減、不採算店舗からの撤退、在庫の圧縮など徹底した効率追及の結果、利益面では増益となりました。

海外市場では、香港での不採算店舗からの撤退などにより減収とはなりましたが、高騰する家賃や減価償却費などの経費が減少し、また中国での地域ごとの販売ルートを再構築するなど収益力強化に注力しており、徐々にその効果も現れてまいりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比6.3%減の11,391百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比31.7%増の1,428百万円となりました。

② 繊維関連事業

アパレル企業向けOEM事業におきましては、厳しい市況が続いておりますが、取引先との取り組み強化を図り、企画提案力の強化に努めてきたことに加え、この秋口からの天候にも恵まれ増収となりました。更に経費面の削減効果もあり、為替も比較的安定しておりましたので増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比4.7%増の8,719百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比39.8%増の328百万円となりました。

③ 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとする東京・横浜・神戸等の不動産に係る賃貸事業におきましては、テナントの入れ替わりもあり稼働率が低下したため、売上高は前年同期比5.5%減の1,281百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比9.6%減の412百万円となりました。

④ その他

ビルメンテナンス事業、内装工事業等におきましては、売上高は前年同期比20.1%増の769百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比24.2%増の11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,235百万円(6.6%)増加し、19,970百万円となりました。これは、現金及び預金が1,270百万円増加したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,059百万円(9.0%)増加し、37,048百万円となりました。これは、投資有価証券が3,009百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて152百万円(1.4%)減少し、10,553百万円となりました。これは、短期借入金が364百万円減少、未払費用が220百万円減少した一方で、未払法人税等が267百万円増加、支払手形及び買掛金が101百万円増加したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて750百万円(11.7%)増加し、7,159百万円となりました。これは、繰延税金負債が931百万円増加した一方で、長期借入金が240百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3,697百万円(10.4%)増加し、39,304百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が2,138百万円増加、利益剰余金が1,015百万円増加、純資産から控除している為替換算調整勘定が535百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績につきましては、平成29年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,069	10,339
受取手形及び売掛金	4,779	5,106
商品及び製品	4,008	4,015
仕掛品	7	7
原材料及び貯蔵品	10	8
未収還付法人税等	263	54
その他	778	627
貸倒引当金	△180	△188
流動資産合計	18,734	19,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,032	7,768
土地	3,166	3,166
その他(純額)	272	264
有形固定資産合計	11,471	11,200
無形固定資産		
商標権	4,062	4,406
その他	232	278
無形固定資産合計	4,294	4,684
投資その他の資産		
投資有価証券	17,635	20,645
退職給付に係る資産	7	7
その他	590	529
貸倒引当金	△10	△18
投資その他の資産合計	18,223	21,163
固定資産合計	33,989	37,048
資産合計	52,723	57,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,335	3,437
短期借入金	5,304	4,940
1年内返済予定の長期借入金	320	320
未払費用	799	579
未払法人税等	116	383
返品調整引当金	35	—
その他	795	893
流動負債合計	10,706	10,553
固定負債		
長期借入金	320	80
繰延税金負債	4,714	5,645
退職給付に係る負債	553	564
その他	821	870
固定負債合計	6,409	7,159
負債合計	17,115	17,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,168	6,168
利益剰余金	25,085	26,100
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	29,018	30,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,672	10,810
繰延ヘッジ損益	10	12
為替換算調整勘定	△2,431	△1,895
退職給付に係る調整累計額	△21	△17
その他の包括利益累計額合計	6,230	8,909
非支配株主持分	358	361
純資産合計	35,607	39,304
負債純資産合計	52,723	57,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	21,620	21,153
売上原価	12,404	12,262
売上総利益	9,215	8,891
販売費及び一般管理費	7,609	6,918
営業利益	1,606	1,972
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	414	466
為替差益	16	—
その他	64	32
営業外収益合計	497	501
営業外費用		
支払利息	34	25
店舗等除却損	9	6
為替差損	—	9
その他	25	21
営業外費用合計	69	63
経常利益	2,033	2,410
特別利益		
投資有価証券売却益	—	47
特別利益合計	—	47
特別損失		
減損損失	43	71
店舗閉鎖損失	—	41
投資有価証券売却損	—	8
特別退職金	2	—
特別損失合計	45	121
税金等調整前四半期純利益	1,987	2,337
法人税、住民税及び事業税	475	595
法人税等調整額	△82	40
法人税等合計	392	636
四半期純利益	1,595	1,700
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,583	1,694

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,595	1,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,506	2,138
繰延ヘッジ損益	110	1
為替換算調整勘定	△621	535
退職給付に係る調整額	2	3
その他の包括利益合計	1,999	2,678
四半期包括利益	3,594	4,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,582	4,373
非支配株主に係る四半期包括利益	11	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,126	8,013	1,072	21,213	407	21,620	—	21,620
セグメント間の内部売 上高又は振替高	26	312	283	622	233	856	△856	—
計	12,153	8,326	1,355	21,835	640	22,476	△856	21,620
セグメント利益	1,084	235	456	1,776	9	1,785	△179	1,606

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△179百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△337百万円及びセグメント間取引消去等157百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 賃貸事業	計			
減損損失	43	—	—	43	—	—	43

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,373	8,178	1,060	20,611	541	21,153	—	21,153
セグメント間の内部売 上高又は振替高	18	540	221	779	228	1,008	△1,008	—
計	11,391	8,719	1,281	21,391	769	22,161	△1,008	21,153
セグメント利益	1,428	328	412	2,170	11	2,182	△209	1,972

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△209百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△323百万円及びセグメント間取引消去等114百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 賃貸事業	計			
減損損失	71	—	—	71	—	—	71